



# 四季巡回

平成 22 年 3 月 6 日 (土) - 6 月 27 日 (日)

休館日 / 月曜日 (祝日の場合は翌火曜日)

開館時間 / 午前 10 時 - 午後 4 時 30 分 (入館は午後 4 時まで)

入場料 / 大人 1000 円 大学・専門学生 800 円 中高生 600 円

小学生 300 円 幼児無料



## 関口雄揮記念美術館

作品：上から 《彩秋》1995 年 《冬の華》1997 年 《早春の水音》2006 年 《雨後》1994 年 すべて部分

# 四季巡回

## 曠野を歩き、四季を巡る 風景画家の遍歴の旅路

冬の北海道を描いた作品で知られる関口雄揮は、しかしながら、決して冬という季節ばかりを好んで描いていたわけではない。山々が紅黄に染まる秋の風景や雪解けの水が川を成す春の風景、あるいは湧き上がる雲が湿度を伝える夏の風景など、四季折々の風景を描き、いずれの季節の作品も関口の世界を鮮やかに彩っている。むしろ彼が描こうとしていたのは、目の前の風景が最も美しく見える瞬間であったと言えるだろう。そのために同じ場所を何度も訪れて、描くに相応しい季節が巡り来るのを待ったのである。

本展では四季を表す作品を展示し、関口がそれぞれの場所において、それぞれの季節ならではの美しさをいかに感じ、表現しようとしていたのかを探ってみたい。



《冬の華》1997年

### 第二展示室の催し

#### 道外風景展

北海道のみならず、日本各地をくまなく歩き、美しい風景を求めた関口の足跡を辿る。長野、新潟、静岡といった本州各地を描いたスケッチを展示する。



軽井沢のスケッチ 1957年

### 第三展示室の催し

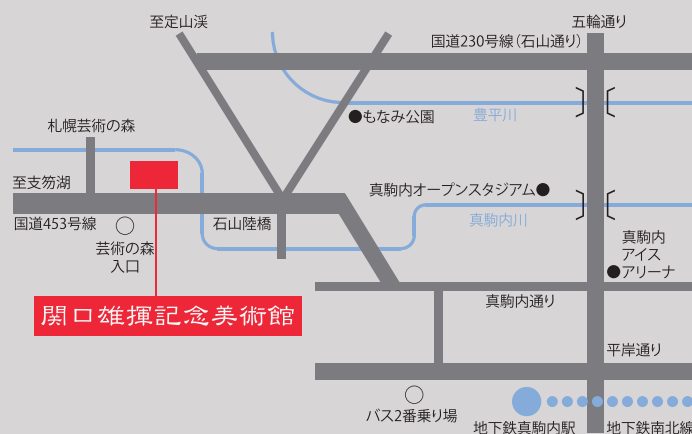
#### 『TRAIN VERT』挿絵展

JR 東日本が発行する車内誌『TRAIN VERT』。関口は1994年4月から翌3月までの1年間、同誌に掲載された村松友視のエッセイ「エトランゼの夢」に挿絵を提供した。全12点の挿絵の原画を展示し、通常の作品からは窺い知れない関口のユーモラスな側面を紹介する。



《船岡「一目千本桜の夢」》  
1994年4月号掲載

### 周辺地図



### 交通

#### ■地下鉄・バスをご利用のお客様

地下鉄南北線「真駒内」駅バス2番乗り場より中央バス乗車「芸術の森入口」下車（所要時間14分 約15分間隔で運行）真駒内方面に徒歩1分

#### ■お車をご利用のお客様

札幌市街中心部より国道453号線を南下支笏湖方面に約40分

## 関口雄揮記念美術館

〒005-0853 札幌市南区常盤3条1丁目（芸術の森入口）  
TEL 011-593-5050 URL <http://www.sekiguchi-muse.jp/>